

令和4年度 山形中央高校スポーツ科（仮称）への変更について

「スポーツ」は、近年、単に競技として行うものだけでなく、健康維持のための運動を含め、体育や身体活動など、幅広い意味としてとらえられています。このことを踏まえ、令和4年度入学生から、全日制の課程「体育科」の学びを、より広くスポーツに関して学べるようにし、学科名称も「スポーツ科」（仮称）に変更する予定です。

「スポーツ科」（仮称）は、県内で唯一、専門教科「体育」を学ぶ学科として、日本のトッププレイヤーやスポーツの指導・研究等で将来山形県のスポーツ界をリードする人材を育成することが大きな役割です。

そのため、これまでの本校「体育科」における実績をもとに、科学的な運動方法や生涯スポーツの役割や価値等について学び、プレイヤーとしても指導者としても優秀な人材を育成し、「スポーツ科」（仮称）の魅力をもっと向上させていきたいと考えています。

具体的には、次の項目に重点を置いた教育、指導を展開していきます。

○ 競技力の向上

スポーツの専門性をより磨き、日本のトップ、そして将来は、プロスポーツ選手やナショナルチームの一員となれるような競技力の高い生徒の育成を目指します。

○ 地域のスポーツ振興への貢献

生涯にわたるスポーツの在り方を学び、将来的に学校、地域クラブ、福祉施設などでスポーツの指導者となる生徒の育成を目指します。また、指導者・審判等の各種資格の取得準備のために、スポーツを通じた地域における交流・指導の機会をつくりま

す。

○ 探究型学習の推進

授業や卒業論文作成を通して、ICTなどを活用し、地元大学との連携をもっと深め、スポーツに科学的アプローチができる生徒の育成を目指します。